

I 概要

桜井市議会産業建設委員会所属議員行政視察

1 期 日 令和 5 年 10 月 16 日 (月)

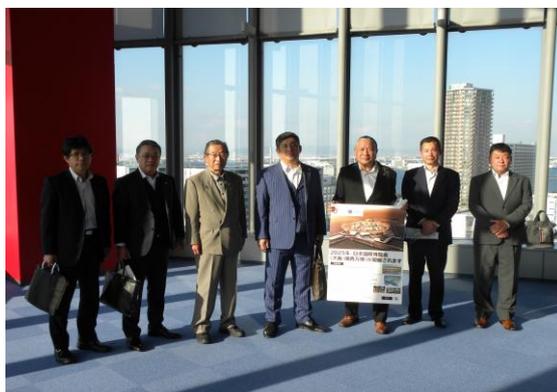
2 派遣委員 (委員長) 工藤 敏太郎 (副委員長) 山岡 康了
(委員) 阪口 豊 (委員) 西 忠吉
(委員) 岡田 光司 (委員) 土家 靖起
副議長 小西 誠次

以上 7 名

3 視 察 地

大阪府大阪市

日本国際博覧会協会



4 視察目的

【日本国際博覧会協会】

日本国際博覧会における近隣府県への観光客の誘客について調査する。

本委員会の所属議員は、議会の議決を得て、上記のとおり派遣を許可され、視察事項のとおり研修を行った。

II 研修内容のまとめ

大阪・関西万博について

「大阪・関西万博の概要」、「大阪・関西万博と観光」等について説明を受けた後、質疑応答を行う。

名 称	2025 日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）
テ ー マ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う） Empowering Lives（いのちに力を与える） Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	未来社会の実験場
会 場	夢洲（大阪市此花区）
開 催 期 間	2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日（184 日間）
想定来場者数	2,820 万人（内インバウンド 350 万人）

●主な質疑応答

問. 物価高騰等の問題もあるが、事業の採算性はあるのか。

答. インフラの部分に関しては、国、大阪府・市、経済界の 3 者で負担する。運営についてはチケット収入で賄うことになるが、協会としては多くの方に来場していただけるよう努力する。

問. 万博開催によって地元の自治体への観光誘客を期待するが、万博期間中に市町村単位で、会場において PR の機会などを持つことができるのか。

答. 貴市のほうで日頃より観光商品を磨き上げていると思われるが、それを旅行会社で商品化し、ポータルサイトに登録することができる。また、会場内においてもデジタルサイネージを使用し、地域の魅力を発信できるようなことも考えている。

問. 経済効果は大阪だけでなく、関西一円に波及されるようなアイデアは、協会として考えているか。

答. 現在、ワーキングチームで検討している。

問. 中小零細企業への経済効果はどのように考えているか。

答. 資料にもあるように、運営参加、営業参加というメニューがあり、企業が持つ先進的な技術やサービスを披露できる様々なメニューを用意している。また、奈良県の商工会議所などを訪問し、そういったメニューを活用いただくよう呼び掛けている。

●所感

日本国際博覧会協会は、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に関連した日本全国各地での体験や過ごし方を提案するとともに、全国各地への周遊を促すことを目的として、各地域の旅行商品の検索に加えて予約から決済までできる観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」を2024年4月に開設する予定である。本年12月頃からポータルサイトへの旅行商品掲載を希望する観光事業者等からの登録申請を開始し、2024年4月より登録商品の購入が可能となる。

多くの来場者はこのポータルサイトを閲覧するため、桜井市の旅行商品や地域イベントの紹介などを登録することで、観光客の誘客が期待できる。そのためには市内事業者等に積極的にポータルサイトの活用を促進していくべきであると考えます。

Ⅲ 視察の様子



